

訪問看護推進事業報告

訪問看護推進課
訪問看護総合支援センター

令和6年度訪問看護推進事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容		令和6年度事業目標	令和4・5・6年度実績	
						項目	
訪問看護推進事業	訪問看護推進事業	訪問看護の普及状況等の実態を基礎資料とし、訪問看護の啓発と理解促進を図り、質の向上および安定した事業運営等、訪問看護を推進する	訪問看護推進協議会開催		訪問看護推進事業の企画・調整等を行い、訪問看護の推進に寄与する	開催日	
			訪問看護実態調査		訪問看護の普及状況等の実態調査を行い、訪問看護推進事業を実施する上での基礎資料を作成する	調査対象（施設）	
						回収数（施設）	
						回収率（％）	
						調査結果からみえる課題に対する方策の実施	
			訪問看護に関する啓発事業		住民や看護職員等に対し、訪問看護に関する情報提供等啓発を行い訪問看護に関する理解を深め、訪問看護の活用を促進する	リーフレット活用（部） ①住民向け②看護職員向け	
			訪問看護相談事業		在宅療養者や家族、訪問看護従事者からの相談に対応し、訪問看護の理解を深め、適切な運営ができるよう支援する	相談件数（件）	
			訪問看護従事者研修会（新任者編）		訪問看護従事者に対して、最新の知識と技術等の習得機会を提供し、質の高い訪問看護サービスの提供に資する	全日程：実習2日・eラーニング 講義R4年度8日・R5年度8日 R6年度8日 公開講座：講義R4年度2回 R5年度3回・R6年度3回	
			訪問看護従事者研修会（管理編）			全日程：実習2日 講義R4年度4日・R5年度5日 R6年度5日 公開講座：講義R4年度4回 R5年度5回・R6年度5回	
			訪問看護従事者研修会（スキルアップ編）			1日単位：4回	
			在宅看護（入退院支援）研修会			全日程：実習2日 講義R4年度3日・R5年度3日 R6年度4日 公開講座：講義R4年度3回 R5年度3回・R6年度4回	
	教育体制整備事業	訪問看護の質向上を図るとともに、訪問看護従事者の確保・定着を促進する	訪問看護就業支援プログラム事業		看護職員および看護学生に対して、訪問看護ST就業体験の機会を提供し、就業意欲を高めることにより訪問看護師の確保につなげる	①受入申込訪問看護ST数（施設） ②体験者数（名） ③体験後の訪問看護ST就労者数	
			訪問看護師サポート研修	個別研修	訪問看護従事者・看護管理者・指導者に対しての育成支援等を行うことにより、訪問看護従事者の確保定着を促進する	①受講訪問看護ST数（施設） ②受講者数（名） ①実施回数 ②受講者（回線数）	
				全体研修（訪問看護制度等に関する研修）		①実施回数（シリーズで受講） ②受講者（施設）	
				全体研修（訪問看護師の育成に関する研修）			
				全体研修（教育機関と連携した研修）		①実施回数 ②募集 ③受講者	
		支援センター事業	訪問看護に係る課題に一体的・一元的に対応し、地域における訪問看護提供体制の安定化および推進を支援する	訪問看護STアドバイザー事業		訪問看護STの運営や経営管理、人材育成等の相談に対応し、必要な知識や情報等の提供や支援を行い、安定した事業運営につなげる	①受講訪問看護ST数（施設） ②実施延回数
				看護小規模多機能型居宅介護事業所への支援	実態把握	看護小規模多機能型居宅介護事業所の実態を把握し、課題と方策を明確にする	①方法 ②対象数（施設）
					研修会・情報交換会	研修や情報収集の機会を提供し、質が高く安定した事業運営を支援する	①実施日 ②受講数（施設）
					ネットワーク構築支援等	事業所間の連携を図るための機会を提供する	方法
				関係機関との連携		関係機関と訪問看護に係る課題や方策等について情報交換および意見交換・協議を行い、訪問看護推進に寄与する	対象：県訪問看護ST協議会・県および郡市医師会在宅医療推進センター・各職能団体 等

および令和7年度取り組み目標

訪問看護ステーションを訪問看護STと記載する

令和4・5・6年度実績				令和7年度計画	
令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年増減	指標	取り組み目標
令和4年8月31日 令和5年2月10日 訪問看護ST176 病院16・診療所2 訪問看護ST134 病院15・診療所2	令和5年8月16日 令和6年3月28日 訪問看護ST188 訪問看護ST146	令和6年9月5日 令和7年1月24日 訪問看護ST204 訪問看護ST150		開催回数1回 R7年8月又は9月	・資料提示の工夫等により、具体的な協議結果が得られる
77.8	77.7	73.5%	4.2減	80%以上	・調査内容のスリム化により回収率を向上、より正確な実態把握となる
実施	実施	実施			
①1,250 ②335 計1,585	①2,230 ②450 計2,680	①1,572 ②539 計2,111	①658減 ②89増 計569減	配布数の増加 配布先種別の拡大	・住民対象リーフレットの活用が促進される
244	372	561	189増	相談者種別の拡大	・介護支援専門員、病院相談員等に相談先を周知し訪問看護の活用につながる
募集20 受講31 修了25	募集30 受講41 修了37	募集30 受講34 修了34	受講/募集割合 136.7→113.3減	・受講/募集割合 70%以上 ・受講満足度 80%以上 ・目標達成度 80%以上 ・受講履歴のない施設からの受講の増加 ・実態調査において該当項目の改善	・小規模施設、新規開設施設等が受講しやすい体制の工夫および全訪問看護STに対する案内により、受講機会を増加させる ・講師との綿密な打ち合わせにより、満足度を高める
募集計80 受講延43	募集計120 受講延35	募集計90 受講延55	受講/募集割合 29.2→61.1増		
募集20 受講20 修了14	募集20 受講20 修了18	募集20 受講14 修了12	受講/募集割合 100→70.0減		
募集計160 受講延べ55	募集計140 受講延べ57	募集計140 受講延べ47	受講/募集割合 40.7→33.6減		
募集計240 受講延べ195	募集計160 受講延べ173	募集220 受講延べ202	受講/募集割合 108.1→91.8減		
募集20 受講17 修了13	募集20 受講17 修了16	募集20 受講12 修了12	受講/募集割合 85.0→60.0減		
募集計50 受講延べ22	募集計30 受講延27	募集計120 受講延84	受講/募集割合 90.0→70.0減		
①13 ②11 ③調査無し	①22 ②7 ③就労0	①36 ②11 ③就労5・開設1	体験者4増 就労・開設6増	体験者数の増加	・NC、看護師等学校養成校との協働により訪問看護への関心を高める
①3 ②5	①0 ②0	①1 ②1	①1増 ②1増	・受講数の増加 ・実態調査結果において該当項目の充実、回答数増加	・小規模施設、新規開設施設等が受講しやすい体制の工夫および全訪問看護STに対する案内の工夫により、受講機会を増加させる ・講師との綿密な打ち合わせにより、満足度を高める
①2回（同内容） ②延108回線	①2回（同内容） ②延103回線	①2回（同内容） ②延50回線	②53回線減		
	①講義・グループワーク計6回 ②58施設＋個人1				
	①1回 ②10 ③10	①3回 ②計30 ③延20	受講/募集割合 100→66.7減	・受講数の増加 ・受講後満足度の向上	・新規開設施設への個別周知により、活用機会を確保する
①5 ②8	①0 ②0	①4 ②9	①4増 ②9増		
	①ヒアリング(電話) ②22	①ヒアリング・視察 ②2			
	①令和6年3月2日 ②8	①令和7年3月13日 ②13 関係機関4 事業所名簿の共有	受講/全事業所割合 36.4→54.2%増		
情報提供	情報提供	情報提供			
実施	実施	実施			

訪問看護推進事業

I 訪問看護推進事業

1 訪問看護推進協議会

1) 目的 在宅医療を推進する上で重要な役割を担う訪問看護に関する課題および対策の検討を行い、訪問看護の推進に寄与する。

2) 委員 11 名

	氏名	所属機関・勤務先	役職
会長	永井 博子	新潟県医師会・押木内科神経内科医院	副院長
副会長	坪川 トモ子	新潟青陵大学看護学部看護学科	学部長・教授
委員	服部 美加	一般社団法人新潟県医師会在宅医療推進センター	コーディネーター
委員	石井 純子	新潟県訪問看護ステーション協議会 (西蒲中央病院訪問看護ステーション)	常任理事
委員	大戸 奈穂子	新潟県福祉保健部 医師・看護職員確保対策課 看護職員確保・育成係	副参事
委員	武田 南	新潟県福祉保健部 地域医療政策課 地域医療整備室	主任
委員	上田 順	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課 介護サービス係	係長
委員	志賀 久美子	新潟市保健衛生部 地域医療推進課	主査
委員	田澤 和枝	公益社団法人新潟県看護協会 訪問看護推進委員会 (訪問看護ステーションるびなす)	委員長
委員	池田 良美	公益社団法人新潟県看護協会	会長
委員	青柳 玲子	公益社団法人新潟県看護協会	常務理事

3) 開催回数・会場・内容

開催日	会場	主な協議内容
令和 6 年 9 月 5 日	新潟県 看護研修センター (オンライン併用)	1.訪問看護の人材育成のための方策について 2.訪問看護ステーションの安定的な運営のための方策について
令和 7 年 1 月 24 日	新潟県 看護研修センター (オンライン併用)	1.地域ごとの人材育成の取り組みについて 2.訪問看護ステーションにおける量（施設数・職員数）と質の 地域間偏在への対応について 3.訪問看護ステーションの規模拡大について

2 訪問看護実態調査

1) 目的 訪問看護の普及状況、対象者のニーズ、具体的看護内容、事業実施上の問題点等に関する調査を行い、訪問看護推進事業を実施する上での基礎資料とする。

2) 概要

- (1) 調査対象 令和 6 年 8 月 1 日現在新潟県に現存する訪問看護ステーション 204 施設
- (2) 回収件数 150 施設（回答率 73.5%）

- 3) 調査内容 ①訪問看護ステーションの概要 ②加算の届出について
 ③サービス提供の実績について ④事業所の運営について
 ⑤職員について ⑥新卒看護職員採用について
 ⑦携帯電話当番について ⑧事業所の質向上のための取り組みについて
 ⑨訪問看護を行なう上で問題として感じていること
 ⑩看護職員のカスタマーハラスメント被害について
 ⑪看護学生実習の受け入れについて ⑫看護協会の入会状況

(4) 調査方法 調査内容(Excel データ)をメールにより送付および回答

- (5) 調査期間 調査項目による ①令和5年4月1日～6年3月31日
 ②令和6年9月1日～9月30日
 ③令和6年10月1日～10月14日

(6) 調査結果 「2024年度訪問看護実態調査報告書」としてまとめた

- (7) 活用 ①訪問看護推進のための基礎資料；調査に協力を得た訪問看護ステーション、訪問看護推進協議会委員、関係団体等に配布し、訪問看護推進のための基礎資料とする。
 ②研修への活用；訪問看護関連研修会の講師に配布し、講義の参考資料として頂く。
 ③訪問看護ステーションに対する報告；県内全訪問看護ステーションを対象に、報告書の内容に関する説明および意見交換会を開催する。
 開催日：令和7年3月26日 参加数：54回線
 意見交換テーマ：ICT化について

3 訪問看護に関する啓発・相談事業

- 1) 目的 県民、在宅療養者とその家族及び保険医療福祉関係機関に対し、訪問看護に関する啓発活動や情報提供および看護相談を行う。

2) 啓発活動

(1) リーフレットの活用

題名	内容	配布先	部数
訪問看護ステーション ～“家で暮らしたい”を 支えます～	訪問看護サービスの内容や 利用方法等の説明	・要望のあった病院 ・要望のあった 訪問看護ステーション ・看護師等学校養成所 等	1,572 部
訪問看護で生き生き働く!!	訪問看護に従事する職員を 増やすための働きかけ	・ナースセンター ・ハローワーク ・研修会会場 ・看護師等学校養成所 等	539 部

- (2) 看護師等学校養成所への訪問や講義による説明
 (3) 求職中看護職への周知(ナースセンター・ハローワークと連携)

3) 訪問看護相談

- (1) 合計 561 件
 (2) 相談者区分

相談者区分	療養者	家族	訪問看護 ステーション	関係機関	その他
件数	7	5	515	29	5

(3) 相談内容

報酬	運営	災害	在宅療養	治療	その他
291	227	1	15	1	26

4 訪問看護従事者研修会（新任者編）（管理編）（スキルアップ編）

※研修会プログラム別途掲載

研修会区分		開催時期 (令和6年)	内容	募集	受講数 修了数
訪問看護従事者研修会 (新任者編)	全日程	6月1日 ～11月16日	講義8日 eラーニング35時間 実習2日	30	受講34 修了34
	公開講座	7月20日 8月3日 9月7日	講義3回	計90	受講延べ 55
訪問看護従事者研修会 (管理編)	全日程	5月11日 ～10月26日	講義5日 実習2日	20	受講14 修了12
	公開講座	5月11日 6月8日 6月29日 8月24日 10月26日	講義5回	計140	受講延べ 47
訪問看護従事者研修会 (スキルアップ編)	一日単位	4月20日 5月18日 11月30日 12月7日	講義4回	計220	受講延べ 202

5 在宅看護（入退院支援）研修会

※研修会プログラム別途掲載

研修会区分		開催時期 (令和6年)	内容	募集	受講数 修了数
在宅看護（入退院支援） 研修会	全日程	5月23日 ～11月9日	講義4日 実習2日	20	受講12 修了12
	公開講座	5月23日 6月20日 10月5日 11月9日	講義4回	計120	受講延べ 84

II 教育体制整備事業

1 訪問看護就業支援プログラム事業

- 1) 目 的 看護職員および看護学生に対して、訪問看護ステーション職場体験の機会を提供し、訪問看護への理解を深めるとともに就業意欲を高めることにより、訪問看護師の確保および定着につなげる。
- 2) 対象者 訪問看護に興味のある看護職員
訪問看護に興味のある看護学生
- 3) 実 績 協力受入施設：36 訪問看護ステーション
体験者：11 名（うち学生 2 名 就業者看護師 1 名 未就業看護師 8 名）
体験後の状況：就労 5 名 訪問看護ステーション開設 1 名
体験実施施設：15 訪問看護ステーション

2 訪問看護師育成サポート研修

- 1) 目 的 訪問看護従事者・管理者・指導者に対して現地での育成支援等を行うことにより、教育体制の充実と訪問看護従事者の確保・定着を促進する。
- 2) 個別研修 内 容：現地での育成支援
実 績：1 訪問看護ステーション
- 3) 全体研修① 内 容：訪問看護の報酬に関する基礎知識
実施日：令和 6 年 9 月 26 日・28 日
実 績：延べ 50 回線
- 4) 全体研修② 内 容：教育機関と連携した研修 「状態変化時のシミュレーション演習」
講義「フィジカルアセスメントの基本」
演習「状態変化時のアセスメント」「状態変化時の対応と報告」
情報交換
実施日：令和 6 年 10 月 25 日・12 月 20 日 令和 7 年 2 月 15 日
講 師：新潟青陵大学看護学部看護学科
学部長・教授 坪川トモ子 准教授 田中瞳 助教 浅野仁美
会 場：新潟青陵大学
実 績：延べ 20 名

Ⅲ 訪問看護総合支援センター事業

1 訪問看護ステーション運営アドバイザー事業

- 1) 目 的 新潟県内の新規開設訪問看護ステーション及び事業所運営等のアドバイスを希望する訪問看護ステーション、運営アドバイザー等を派遣し、訪問看護ステーションの運営に関する支援を行うことで、安定した事業運営につなげる。
- 2) 対象者 新潟県内において新規開設準備又は新規開設した訪問看護ステーション
新潟県内で開設している訪問看護ステーションで事業運営等のアドバイスを希望する訪問看護ステーション
- 3) 運営アドバイザー登録者 1 名
- 4) 実 績 件数：4 件 回数：延べ 9 回

2 訪問看護の周知

- 1) 看護師等学校養成所に対し前年度ヒアリング結果報告、訪問看護に関する情報等提供
- 2) 新潟市事業への協力
 - ①看護大学における説明 実施日：8 月 7 日 対象：80 名
 - ②訪問看護 Web お仕事ナビ 実施日：3 月 9 日 参加者：7 名

3 看護小規模多機能型居宅介護事業所への支援

1) ヒアリング・視察

- (1) 目 的 県内看護小規模多機能型居宅介護事業所の現地視察やヒアリングにより、運営状況を把握し、質の向上および経営・運営の安定化、ネットワーク構築に向けた支援の方策に関する具体的な検討のための資料とする
- (2) 対 象 2 事業所（下越圏域・魚沼圏域）
- (3) 実施日 令和 6 年 10 月 17 日・10 月 29 日

2) 研修会・情報交換会

- (1) 目 的 看護小規模多機能型居宅介護事業所の効果的な運営方法を学び、自施設における取り組みを考えることができる
県内の看護小規模多機能型居宅介護事業所間の連携を図ることができる
- (2) 実施日 令和 7 年 3 月 13 日
- (3) 内 容 講義「地域包括ケア時代をみすえた看護小規模多機能型居宅介護事業所への期待」
講師：公益社団法人新潟県看護協会 常務理事 青柳玲子
実践報告 「看護小規模多機能型居宅介護事業所の運営と課題」
報告者：(株)アンジェル・代表取締役 かんたきゆいまーる・ケアマネジャー 唐津義明
情報提供 「新潟県小規模多機能型居宅介護事業者協議会の活動」
提供者：新潟県小規模多機能型居宅介護事業者協議会 事務局 物江正子
情報交換会
- (4) 受講者 13 事業所 4 関係機関

4 関係機関との連携

- 1) 機関；行政 新潟県訪問看護ステーション協議会 在宅医療推進センター 教育機関 医療機関
新潟県介護支援専門員協会 新潟県薬剤師会 新潟県医療的ケア児支援センター 等
- 2) 内容；訪問看護推進における課題と方策の共有・検討、訪問看護に関連する事業 等

令和6年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(新任者編)」全日程 プログラム

目 的 訪問看護に関連する制度や技術を理解、修得し、実践に活かすことができる

日 程 ①eラーニング;約35時間 ②講義;計8日間(40時間) ③ 施設実習;2日間 ①②③全てを受講する

※①については、前年度に各施設で受講し修了証書の写が確認できれば免除とします。

時 間 9:30～15:30 (但し6/1は開講日のため9:40～15:30)

会 場 ①eラーニング;職場等 ②講義 ;新潟県看護研修センター ③ 施設実習 ;訪問看護ステーション・地域包括支援センター

* 講義のうち 7/20・8/3・10/18・10/19 は会場受講のみとします(他の回はオンライン受講も可能)

費 用 ①eラーニング;会員・非会員14,300円 ②講義 ;資料代 会員17,600円・非会員52,800円

募 集 30名

① eラーニング

期間	形態	履修科目	備考
6/1～11/15	eラーニング	第1章 訪問看護概論 第2章 在宅ケアシステム論 第3章 リスクマネジメント論 第4章 訪問看護対象論 第5章 訪問看護展開論 第6章 訪問看護技術論	・講義の項目に合わせて自己学習する ・確認テスト終了後に修了証書が発行される

② 講義

回数	開催日	開催時間 時間数	会場	講義名	○ねらい・学習内容	所 属 講 師 名
1	6/1 (土)	9:40～ 11:30 2時間	中 研 修 室	地域包括 ケアシステム	○地域包括ケアシステムを理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域包括ケアシステムの定義、構造、機能、動向 ・地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割 等	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 在宅福祉班 須田 真奈
		12:30～ 15:30 3時間		地域医療構想	○地域医療構想を理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域医療構想の概念 ・新潟県地域医療構想 ・地域医療構想において訪問看護に求められる役割 等	新潟県福祉保健部地域医療政策課 地域医療整備室 大貫 信太郎
		12:30～ 15:30 3時間		訪問看護概論	○訪問看護制度の基本を理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・保健医療福祉に係る社会的背景と訪問看護のニーズ ・訪問看護の役割、機能、特性、諸制度 等	センター病院訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 古川 総一郎
2	7/6 (土)	9:30～ 12:00 2.5時間	大 研 修 室	在宅ケア システム	○在宅ケアマネジメントの基本を理解する ○多職種連携における訪問看護の役割を理解する ・ケアマネジメントの定義、目的 ・介護保険制度の基本 ・介護支援専門員の役割 ・多職種連携 ・BCP 等	新潟市居宅介護支援事業者連絡協 議会 会長 丸山 径世
		13:00～ 15:30 2.5時間		入退院支援	○入退院支援の仕組みを理解する ○医療機関との連携における訪問看護の役割を理解する ・入退院支援の機能、プロセス、看護師の役割 ・医療機関と訪問看護ステーションの連携 等	独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院 入退院支援室 看護師 伊部 まりこ
3	7/20 (土)	9:30～ 12:00 2.5時間	大 研 修 室	在宅での リハビリテーション	○リハビリテーションの基本を理解する ○リハビリテーションが必要な在宅療養者への援助技術を修得する ・在宅におけるリハビリテーションの基本と特性 ・関節の動かし方 ・適切な介助方法 等	済生会新潟県央基幹病院 リハビリテーション科 呼吸専門理学療法士 瀬崎 学
		13:00～ 15:30 2.5時間		肺理学療法	○肺理学療法の基本を理解する ○呼吸管理を必要とする在宅療養者の安楽な呼吸援助の技術を修得する ・呼吸のフィジカルアセスメント ・肺理学療法の基本 ・在宅における呼吸ケアの実践 等	
4	8/3 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	フィジカル アセスメント	○フィジカルアセスメントの基本を理解する ○在宅療養者の健康状態をアセスメントできる技術を修得する ・フィジカルイグザミネーションの基本 ・循環、神経系、消化のフィジカルアセスメントの基本 等	新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授 佐々木 祐子
5	9/7 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	訪問看護過程 訪問看護記録	○訪問看護過程の基本を理解する ○訪問看護の記録について理解する ・訪問看護過程 ・訪問看護の実践 ・訪問看護の記録の基本と実践 等	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子
6	10/18 (金)	9:30～ 15:30 5時間	中 研 修 室	家族関係論	○訪問看護の対象となる療養者と家族の特性を理解する ○家族支援方法を修得する ・家族関係論の基本 ・家族療法の意義、技法 ・家族支援のあり方の検討 等	国立病院機構新潟病院臨床研究部 臨床心理・遺伝カウンセリング研究室 室長 認定遺伝カウンセラー・臨床心理士 後藤 清恵
7	10/19 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	家族看護Ⅰ・Ⅱ		
8	11/16 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	成果報告会	○講義、eラーニング、施設実習で学びを統合し、 訪問看護の役割、魅力を語ることができる ・学びの振り返り ・訪問看護師としての今後の課題と行動計画	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子

③ 施設実習

期間	場所・日程	目標 学習内容	備考
7月～11/15	・自施設以外の訪問看護ステーション 1日 ・地域包括支援センター 1日	○訪問看護の実際を知る ○地域における連携の実際を知る ・見学実習	・実習は協力の了解を頂いた施設で行う ・施設、日程については協会が調整する

令和6年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(新任者編)」公開講座 プログラム

目 的 訪問看護に関連する制度や技術を理解、修得し、実践に活かすことができる

時 間 9:30～15:30

会 場 新潟県看護研修センター * 7/20・8/3は会場受講のみ 9/7はオンライン受講可能

費 用 資料代 各回 会員2,200円 非会員6,600円

募 集 30名

講義

回数	開催日	開催時間 時間数	会場	講義名	○ねらい ・学習内容	講師(敬称略)
1	7/20 (土)	9:30～ 12:00 2.5時間	大 研 修 室	在宅での リハビリテーション	○リハビリテーションの基本を理解する ○リハビリテーションを必要とする在宅療養者への援助技術を 修得する ・在宅におけるリハビリテーションの基本と特性 ・関節の動かし方 ・適切な介助方法 等	済生会新潟県中央基幹病院 リハビリテーション科 呼吸専門理学療法士 瀬崎 学
		13:00～ 15:30 2.5時間		肺理学療法	○肺理学療法の基本を理解する ○呼吸管理を必要とする在宅療養者の安楽な呼吸援助の技術を 修得する ・呼吸のフィジカルアセスメント ・肺理学療法の基本 ・在宅における呼吸ケアの実践 等	
2	8/3 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	フィジカル アセスメント	○フィジカルアセスメントの基本を理解する ○在宅療養者の健康状態をアセスメントできる技術を修得する ・フィジカルイグザミネーションの基本 ・循環、神経系、消化のフィジカルアセスメントの基本 等	新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授 佐々木 祐子
3	9/7 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	訪問看護過程 訪問看護記録	○訪問看護過程の基本を理解する ○訪問看護の記録について理解する ・訪問看護過程 ・訪問看護の実践 ・訪問看護の記録の基本と実際 等	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子

**令和6年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(管理編)」～キャリアアップコース～
全日程・公開講座 プログラム**

目 的 質の高い訪問看護サービスを提供するための管理・運営方法を理解し、実践に活かすことができる

日 程 全 日 程：講義5日間(25時間)＋施設実習2日(訪問看護ステーション実習1日及び地域実習1日)

公開講座：講義5回

※第1回受講者は第5回午後にも受講すること ※第5回午後受講者は、第1回を受講していること

時 間 9:30～15:30

会 場 講義：新潟県看護研修センター

※5/11および10/26午後は会場受講のみ 8/24は会場受講が望ましい 他はオンライン受講も可

実習：訪問看護ステーション1日、病院の地域連携部門または地域包括支援センター1日(調整は協会が行う)

費 用 全 日 程：講義(資料代) 会員11,000円 非会員33,000円

公開講座：講義(資料代) 各回 会員2,200円・非会員6,600円 *10/26：午前または午後のみ 会員1,100円 非会員3,300円

募集人数 全日程：20名 公開講座：下記に記載(会場受講者の最大数、オンライン受講の場合は制限なし)

全日程回数	公開講座		開催日	開催時間	会場	講義名	○ねらい・学習内容	講師(敬称略)
	回数	定員						
1	1	10名	5/11 (土) 公開講座有 ↓ 10/26午後にも 受講すること	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	看護マネジメント	○看護マネジメントの基本を理解する ○看護サービス管理について理解する ○組織の成長・発展のための看護管理実践の方法を知る ・目標管理、変革理論、システム論について ・看護サービスの標準化、質の保証と評価 ・組織の問題の背景や原因の分析、整理の方法 ・課題を明確にすることについて 等	社会医療法人 桑名恵風会 桑名病院 看護部長 認定看護管理者 伊藤 恵
2	2	20名	6/8 (土) 公開講座有	9:30～ 15:30 5時間	中 研 修 室	訪問看護ステーションの 労務管理	○労務管理の基本を理解する ○訪問看護ステーションにおける労務管理を理解する ○ハラスメントに関する基本を理解し対応策を明確にする ・労務管理の基礎 ・訪問看護に必要な労務管理 ・ハラスメント対策 ・職員の心身の健康管理 等	加藤看護師社労士 事務所代表 特定社会保険労務士 看護師 医療労務コンサルタント 加藤 明子 ※オンライン講義
3	3	40名	6/29 (土) 公開講座有	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	訪問看護の質向上	○訪問看護ステーション運営の基本を理解する ○訪問看護ステーション管理者の役割を理解する ○自施設の課題と役割を明確にする ・訪問看護を取り巻く社会的背景 ・訪問看護事業の運営と管理者の役割 ・訪問看護事業に求められる人材(人財)育成 ・訪問看護師の生涯学習 等	公益財団法人日本訪問看護財 団 常務理事 あすか山訪問看護ステーション 統括所長 在宅看護CNS 平原 優美
4	4	40	8/24 (土) 公開講座有	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	訪問看護ステーションの 経営戦略	○経営に必要な基本的知識と手法を理解する ○訪問看護ステーションの経営について理解する ○自施設の課題と取り組みを明確にできる ・訪問看護ステーションを取り巻く経営環境 ・訪問看護ステーションの経営の基礎知識 ・収支構造の理解と経営管理 ・経営安定化に向けた取り組み 等	渡邊会計事務所 所長 公認会計士 税理士 看護師 渡邊 尚之
5 6			7月～ 10月	実習施設 と相談 (5時間 以上)		実習	○訪問看護ステーションにおける管理業務の実際を学ぶ ○地域ケアシステムにおける訪問看護ステーションの役割を 再認識する ・自施設以外の訪問看護ステーション 1日 ・地域包括支援センターまたは病院の地域連携部門 1日	
7	5	20名	10/26 (土) 公開講座有	9:30～ 12:00 2.5時間	中 研 修 室	訪問看護ステーションに おけるリスクマネジメント	○リスクマネジメントの基本を理解する ○組織的に事故防止を行うための課題と取り組みを 明確にする ・医療安全の基礎知識 ・訪問看護ステーションにおける安全管理のポイントと 体制の構築 ・事故発生時の対応 等	東京科学大学大学院 保健衛生学研究科 ヘルスサービスリサーチ看護学分 野 教授 柏木 聖代 ※オンライン講義
		10名	↓ 午後の講座 は5/11受講 していること	13:00～ 15:30 2.5時間		訪問看護ステーション 管理者の役割	○訪問看護ステーション管理者の役割を理解する ○自己の課題と取り組みを明確にする ・学習内容：調整中	社会医療法人 桑名恵風会 桑名病院 看護部長 認定看護管理者 伊藤 恵

令和6年度 新潟県委託事業 訪問看護従事者研修会(スキルアップ編) プログラム

目 的 質の高い訪問看護サービスの提供に向けて、知識・技術を学び実践に活かすことができる

日 程 4回（全日程ではなく、一日単位で受講する）

第1回 4月20日(土) 第2回 5月18日(土) 第3回11月30日(土) 第4回 12月7日(土)

時 間 第1回・第2回;9:30～15:30 第3回;9:30～16:30 第4回;10:30～16:30

会 場 新潟県看護研修センター（Zoomによるオンライン受講も可能）

費 用 資料代 各回 会員2,200円 非会員6,600円

募集人数 会場受講者の最大数 大研修室;60名 中研修室40名（Zoomによるオンライン研修受講者は制限なし）

回数	開 催 日	開催時間	会場	募集	講 義 名	○ねらい ・学習内容	講師（敬称略）
1	4/20 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	60 名	医療的ケア児への 支援と 小児訪問看護	○医療的ケア児への支援体制と小児訪問看護に ついて理解し、実践に活かすことができる ・小児の発達課題とケア ・医療的ケア児をとりまく現状と課題 ・行政の取り組み ・小児訪問看護の実際 等	新潟大学大学院保健学研究科 看護学領域 小児看護学 准教授 田中美央 新潟市教育委員会 指導主事 渡邊美帆子 長岡療育園/新潟県医療的ケア児 支援センター「ゆい・にじいろ」 重症心身障害児者・医療的ケア児 者 アドバイザー 桑原拓 訪問看護ステーションもも 管理者 篠田まなみ
2	5/18 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	60 名	精神科訪問看護	○精神科看護について理解し、実践に活かすことが できる～心理教育の要素を活かして～ ・精神科医療・看護で行われていること ・精神科訪問看護について ・精神科訪問看護の実際 ・精神科訪問看護をケースを通して 等	訪問看護ステーションセレナ 所長 佐藤博幸
3	11/30 (土)	9:30～ 12:30 3時間	大 研 修 室	60 名	虐待	○あらゆる人の人権を尊重する看護倫理的視点から 虐待について学び実践に活かすことができる ・虐待の基本 ・看護倫理とは ・看護倫理と虐待 等	精神科病院看護師 宮子あずさ
		13:30～ 14:25 1時間				○虐待の基本を理解し適切な対応に繋げることができる ・虐待の基本 ・虐待に関連する制度 ・訪問看護師に求められる役割 等	新潟医療福祉大学看護部看護学科 助教 精神看護専門看護師 早川貴紀
		14:25～ 16:30 2時間			在宅における 食支援	○栄養士の役割及び在宅における食支援の方法につ いて理解し、実践に活かすことができる ○栄養士と訪問看護師の連携について理解し、実践 に活かすことができる ・在宅における栄養士の役割と活動の実際 ・栄養士と訪問看護師の連携 ・フレイル、嚥下困難者への食支援 等	公益社団法人新潟県栄養士会 管理栄養士 小幡郁子
4	12/7 (土)	10:30～ 13:00 2.5時間	中 研 修 室	40 名	訪問看護 ステーションに おける感染対策	○訪問看護ステーションにおける感染対策を理解し 実践に活かすことができる ・感染とは ・感染対策の基本 ・組織としての感染対策 等	厚生連柏崎総合医療センター 感染管理特定認定看護師 徳原伸子
		14:00～ 16:30 2.5時間			検査データを 活かした 訪問看護	○訪問診療における検査について理解し、実践に 活かすことができる ・在宅療養者に実施する一般的なスクリーニング検査 (栄養状態を考える、炎症反応・治療の効果の判定な ど) ・病状の診断と治療評価を目的に行う検査 (発熱、酸素飽和度低下、浮腫など) 等	ひろさわ内科医院 院長 廣澤利幸

令和6年度 新潟県委託事業「在宅看護(入退院支援)研修会」全日程および公開講座 プログラム

- 目 的 1.地域連携に必要な知識と支援システムの実践を学び、実践に活かすことができる
2.療養者および家族が安心して入退院できる支援方法を学び実践に活かすことができる
- 日 程 全 日 程:講義4日間(22時間) 訪問看護ステーション実習2日間
公開講座:講義4回
- 会 場 新潟県看護研修センター 5/23・6/20・10/5はZoomによるオンライン受講も可能 11/9は会場受講のみ
- 費 用 全 日 程:講義資料代 会員8,800円 非会員26,400円
公開講座:資料代 各回 会員2,200円 非会員6,600円
- 募 集 全日程:20名 公開講座:会場受講者の最大数 5/23・6/20は20名 10/5・11/29は40名

全日程	公開講座		開催日	時間	会場	講義名	○ねらい・学習内容	講師 (敬称略)
	回数	募集						
1	1	20名	5/23 (木) 公開講座有	9:30～ 12:00 2.5時間	中 研 修 室	地域ケアシステムの理解	○地域ケアシステムについて理解する ○地域において看護職に求められる役割を考える ・地域ケアシステムの基本 ・地域ケアシステム構築において必要な視点 ・地域ケアシステムの実践 等	新潟大学大学院 保健学研究科 准教授 井上 智代
				13:00～ 15:30 2.5時間		訪問看護の実践	○訪問看護の制度を理解する ○訪問看護師の役割について理解する ・在宅ケアを受ける療養者と家族 ・訪問看護制度 ・訪問看護師の役割 ・訪問看護と医療機関の連携 等	訪問看護ステーションふくふく 管理者 緩和ケア認定看護師 中野 美佳
2	2	20名	6/20 (木) 公開講座有	9:30～ 12:00 2.5時間	中 研 修 室	医療機関と地域との連携	○医療機関と地域との連携の実践を理解する ○医療機関と地域との連携における看護職の役割を考える ・入退院支援における地域との連携 ・外来看護における地域との連携 ・看護職の役割 等	医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 入退院支援部門 看護主任 慢性心不全看護認定看護師 白倉 透規
				13:00～ 15:30 2.5時間		在宅療養を支える地域ケアシステム	○病院、施設等から在宅療養へ移行するための支援システムを理解する ○支援システムにおける看護職の役割を考える ・在宅療養を支えるシステムおよびサービス ・介護支援専門員の役割 等	医療法人恵生会 南浜病院 保健師・看護師 岡田 智子
3 4			7月～ 9月	施設と 相談 5時間 以上		実習	○訪問看護を体験し、在宅療養者と家族の生活を知る ・訪問看護ステーションのスタッフと同行訪問 等 訪問看護ステーション 2日	訪問看護ステーション 管理者 スタッフ
5	3	40名	10/5 (土) 公開講座有	9:30～ 13:00 3.5時間	大 研 修 室	在宅療養生活の支援	○地域連携における看護職の役割を考える ・講義および実習での学びを共有する ・在宅、訪問看護での家族支援 等 ※全日程を受講していない受講者はグループワークを通して 学びを共有する	訪問看護ステーションふくふく 管理者 緩和ケア認定看護師 中野 美佳
						在宅における看取り	○在宅における緩和ケア、看取り支援を理解する ○ACPIについて理解する ・訪問看護と緩和ケア ・ACPIについて 等	
				14:00～ 16:30 2.5時間		地域における診療 ・地域包括ケアシステムの理解と具体的実践 ・ACP ～自分の望む最期を描く～	○地域包括ケアシステムの具体的実践について理解する ○ACPIについて理解する ・地域包括ケアシステムとは ・地域における診療の実践 ・看護職に求める役割 等	山の下クリニック 院長 阿部 行宏
6	4	40名	11/9 (土) 公開講座有	9:30～ 16:30 6時間	大 研 修 室	地域ケアシステムにおける在宅療養に向けた支援	○本人の意志を尊重した在宅療養支援を行うための看護職の役割を理解し、自施設の課題を明確にして、解決に向けて行動できる。 講義 ・看護連携が推進する地域包括ケアシステム ・地域共同で取り組む入退院支援 DX/ICT活用 ・外来から始める在宅療養支援 ・ケアプロセスを切れ目なくつなぎ、意思決定を支える院内、院外の仕組み ・地域で紡ぎ、つなぐACP支援 グループワーク2回と全体共有	在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 宇都宮 宏子